



4. いまさらながら、「教会」ってなに??

信者でなければ天国へいけない、だから信者になるという考えがあるかもしれません。

しかし、救いの保証を得るために教会の一員になるのだとすれば、そして信者になったか

らこれで安心だと思えるならば、教会について大きな誤解をしているのではないでしょう

か。

キリストは、無条件に人びとを愛することによって豊かないのちを与えられます。それは、

やがて訪れる「その時」だけのことではなく、「今、ここで」はじめられます。教会は、その

神の心に感謝し賛美し、自分自身もその心をもって生きようとする人びとの集まりなので

す。

教会はその心を、大きな喜びと希望を持って人びとと分かち合おうとします。それこそ

キリストが弟子たちにならねられたことも大切な役割です。その働きは、キリストのメ

ッセージを言葉として伝えるだけでなく、キリストの心が生かされている社会の現実

すべてにかかわり、改めてい<ことをも含んでいるのです。

福音書は、キリストが何を語られ、どのように人びとを愛されたかを示す宝庫です。ま

た、社会の中で生きる人びとのために働<教会の姿は、第二バチカン公会議で出された『教

会憲章』や『現代世界憲章』などに繰り返し述べられています。

◇分かち合いのフォーラム◇

*あなたが「教会」という言葉を聞いて思い浮かべるのはどんなことですか? 思い浮

かぶることをいくつかあげてみてください。

*あなたの周り(家庭・職場・地域・学校など)の人びと、社会一般の人びとは、「教会」

についてどのようなイメージを持ち、どのように見えていますか?

*『教会憲章』(1項)や『現代世界憲章』(1項)に示されている教会のあり方について

の箇所を読み、上の質問で出てきた事柄と比較してみてください。比較した印象を

分かち合い、気付いたことを確認しましょう。